

市バス旅客流動調査の結果について

1 調査の概要

お客様の御利用状況を把握する市バス旅客流動調査は、約10年に1回、実施しています。(前回の調査は平成24年5月に実施)

今回の調査は、京都府に発出されていた新型コロナウイルス緊急事態宣言(～令和3年9月30日)が解除された後の、令和3年11月下旬から12月中旬にかけて実施しました。

その結果、約32万人(平日調査)のお客様の御利用状況を把握することができ、このうち、約8割は京都市内にお住まいの方で、市民の皆様がどのように市バスを利用されているか、また、観光のお客様等の御利用状況についても把握することができました。

(1) 調査実施日及び調査対象

ア 平日調査

全81系統のうち、平日に運行する72系統(調査時に運休していた系統を除く)の全ダイヤについて、営業所単位で延べ6日間、調査を実施しました。(九条営業所については2日に分けて実施しました。)

調 査 日	対象営業所
令和3年11月25日(木)	横大路営業所
11月29日(月)	西賀茂営業所
12月1日(水)	九条営業所
12月3日(金)	洛西営業所・烏丸営業所錦林出張所
12月7日(火)	梅津営業所
12月9日(木)	烏丸営業所・九条営業所

イ 休日調査

全81系統のうち、休日に運行する73系統（調査時に運休していた系統を除く）の一部ダイヤを抽出（7時～19時の間、概ね1時間に1～2運行）し、延べ2日間で調査を実施しました。

なお、平日に運行していない系統（58号系統及び88号系統）については、全ダイヤで調査を実施しました。

調査日	対象営業所
令和3年12月5日（日）	烏丸営業所・九条営業所・ 横大路営業所
12月12日（日）	西賀茂営業所・梅津営業所・ 洛西営業所・烏丸営業所錦林出張所

(2) 調査項目

ア お客様の乗車停留所・降車停留所

イ 利用券種：8区分

現金／定期券・IC定期券／ICカード／回数券／一日券・二日券／
敬老乗車証／トラフィカ京カード／その他

ウ 乗車目的：8区分

通勤／通学／通院／仕事・業務／買い物・食事／趣味・娯楽／
観光・修学旅行／その他

エ 乗車前後の乗継状況：4区分

地下鉄／鉄道（JR・私鉄）／バス／徒歩・その他（乗り継ぎなし）

オ 年齢：6区分

7～12歳／13～18歳／19～39歳／40～59歳／
60～69歳／70歳以上

カ 居住地：2区分

京都市内／京都市以外

(3) 調査方法

2名の調査員がバス車内に乗り込み、乗車口の調査員（配布係）が「交通調査カード」（下図参照）をお客様にお渡しし、降車口の調査員（回収係）がカードを回収することで、お客様の御利用区間（乗車停留所～降車停留所）を把握しました。

また、御乗車中、お客様に「交通調査カード」の質問（回答欄折込方式）に答えていただくことで、前述の調査項目のイ（利用券種）からカ（居住地）までを把握しました。

<交通調査カード>

【表面】

【裏面】

↑
215mm
↓

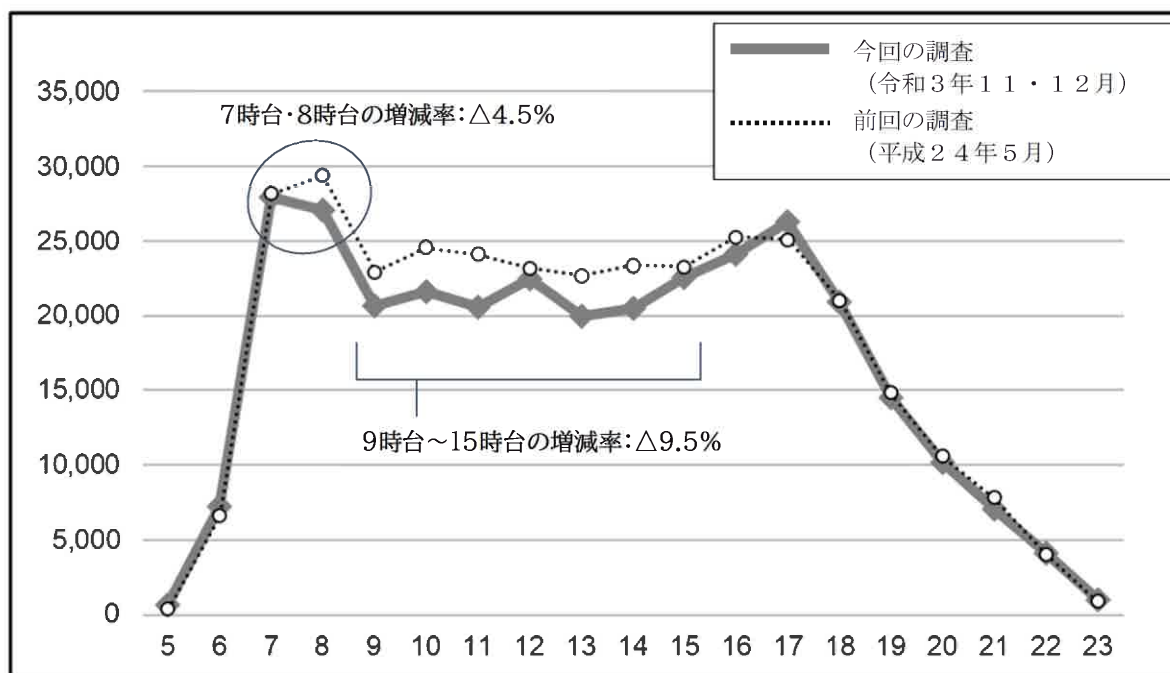
← 80mm →

2 平日調査の結果

(1) 総旅客数

319,713 人

(2) 時間帯別の旅客数



- ・ 時間帯別の旅客数を見ると、全体としては、通勤や通学でお出かけの際の朝ラッシュとお帰りの際の夕ラッシュの御利用が他の時間帯と比べて比較的多い、M字型のカーブを描いています。
- ・ 御利用のピークは朝の7時台及び8時台で、それぞれ2万7千人程度の御利用があります。前回の調査と比べ、今回の調査では朝ラッシュ時間帯（7時台・8時台）の御利用が減少している結果となりました。7時台と8時台の合計では、前回の調査よりも4.5%御利用が減少しています。
- ・ その後、9時～15時台の昼間時間帯は約2万人強の御利用で推移しています。今回の調査では昼間時間帯で御利用の減少が見られ、9時台～15時台の合計で9.5%御利用が減少しています。
- ・ 昼間時間帯から夕方時間帯にかけて御利用が徐々に増加し、17時台に夕方のピークを迎え、以降、夜間にかけて御利用が減少していきます。夜間時間帯の御利用状況は、前回の調査と比べて顕著な変化は見られませんでした。

(3) 利用券種別（8区分）の旅客数

区 分		今回の調査 (令和3年11・12月)		前回の調査 (平成24年5月)	
		旅客数 (人)	構成比 (%)	旅客数 (人)	構成比 (%)
定期 外	現金	20,605	6.5	47,890	14.2
	ICカード	91,196	28.5	(未導入)	—
	回数券	20,714	6.5	41,445	12.2
	一日券・二日券	21,861	6.8	51,057	15.1
	トラフィカ京カード	5,578	1.7	23,720	7.0
	(小計)	(159,954)	(50.0)	(164,112)	(48.5)
定期券・IC定期券		67,172	21.0	86,613	25.6
敬老乗車証		73,357	23.0	65,814	19.5
その他*		19,230	6.0	21,699	6.4
合 計		319,713	100.0	338,238	100.0

※ 福祉乗車証など上記以外の区分での御利用

- ・ 定期外での御利用は、全体の2分の1です。平成26年12月に導入したICカード（IC定期券を除く）の御利用は28.5%であり、定期外の御利用の半数以上を占めます。
- ・ 「定期券・IC定期券」（平成29年4月導入）の御利用は21.0%であり、前回の調査と比べて減少しました。テレワークや大学のリモート講義など、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化を一定反映しているものと考えられます。
- ・ 「敬老乗車証」の御利用は23.0%で、前回の調査よりも少し増加しました。

(4) 乗車目的別（8区分）の旅客数

区 分	今回の調査 (令和3年11・12月)		前回の調査 (平成24年5月)	
	旅客数 (人)	構成比 (%)	旅客数 (人)	構成比 (%)
通勤	111,431	34.9	97,788	28.9
通学	37,407	11.7	40,457	12.0
仕事・業務	22,209	6.9	27,910	8.2
買い物・食事	47,422	14.8	42,454	12.6
観光・修学旅行	31,621	9.9	53,534	15.8
通院	18,779	5.9	(調査せず)	—
趣味・娯楽	25,108	7.9	(調査せず)	—
その他	25,736	8.0	76,095	22.5
合 計	319,713	100.0	338,238	100.0

- ・ 「通勤」での御利用が最も多く34.9%を占めています。「通勤」と「通学」を合わせると46.6%となり、半数近くを日常的な御利用で占めました。
- ・ 「通勤」に次いで多いのが「買い物・食事」での御利用であり、14.8%ありました。
- ・ 前回の調査では「その他」の割合が22.5%と比較的多く、より詳しくお客様の利用目的を把握するため、今回は新たに「通院」と「趣味・娯楽」を調査項目に加えました。「通院」での御利用は5.9%、また、「趣味・娯楽」での御利用は7.9%でした。

(5) 乗車前後の乗継状況（4区分）

区 分		今回の調査 (令和3年11・12月)		前回の調査 (平成24年5月)	
		旅客数 (人)	構成比 (%)	旅客数 (人)	構成比 (%)
乗車前	地下鉄から	22,601	7.1	18,423	5.4
	鉄道から (JR・私鉄)	40,125	12.6	37,791	11.2
	バスから	62,807	19.6	43,514	12.9
	徒歩・その他 (乗り継ぎなし)	194,180	60.7	238,510	70.5
	合 計	319,713	100.0	338,238	100.0
降車後	地下鉄へ	19,041	6.0	16,457	4.9
	鉄道へ (JR・私鉄)	35,242	11.0	32,455	9.6
	バスへ	51,529	16.1	42,514	12.6
	徒歩・その他 (乗り継ぎなし)	213,901	66.9	246,812	72.9
	合 計	319,713	100.0	338,238	100.0

- ・ 市バスの乗車前を見ると、約4割の方が何らかの交通機関から乗り継いで利用されています。地下鉄からの乗り継ぎは7.1%、JRや私鉄からの乗り継ぎは12.6%、他の市バスや民間バスからの乗り継ぎは19.6%でした。
- ・ 同様に、市バスの降車後を見ると、約3割強の方が何らかの交通機関へ乗り継いで利用されています。地下鉄への乗り継ぎは6.0%、JRや私鉄への乗り継ぎは11.0%、他の市バスや民間バスへの乗り継ぎは16.1%でした。

(6) 年齢別の旅客数（6区分）

区 分	今回の調査 (令和3年11・12月)	
	旅客数 (人)	構成比 (%)
7歳 ～12歳	2,651	0.8
13歳 ～18歳	17,181	5.4
19歳 ～39歳	89,108	27.9
40歳 ～59歳	76,541	23.9
60歳 ～69歳	34,136	10.7
70歳以上	100,096	31.3
合 計	319,713	100.0

区 分	前回の調査 (平成24年5月)	
	旅客数 (人)	構成比 (%)
6歳 ～12歳	4,049	1.2
13歳 ～64歳	240,031	71.0
65歳以上	94,158	27.8
合 計	338,238	100.0

- ・ 今回の調査は、前回の調査から年齢を6区分に増やして行いました。
- ・ 「70歳以上」の方が31.3%と最も多く、次いで、「19歳～39歳」で27.9%、「40歳～59歳」で23.9%という順に多くなっています。

(7) 居住地別の旅客数（2区分）

区 分	今回の調査 (令和3年11・12月)		前回の調査 (平成24年5月)	
	旅客数 (人)	構成比 (%)	旅客数 (人)	構成比 (%)
京都市内	254,955	79.7	240,707	71.2
京都市以外	64,758	20.3	97,531	28.8
合 計	319,713	100.0	338,238	100.0

- ・ 京都市内にお住まいの方が79.7%を占めています。
- ・ 京都市以外にお住まいの方は20.3%でした。

(8) 系統別の旅客数, キロ当たり旅客数及び乗車効率

下表の区分に基づき, 旅客数と効率性を表す指標である「キロ当たり旅客数」※¹, 「乗車効率」※²を系統別に集計しました。

ここでは, それぞれの上位20位の系統及び下位20位の系統をお示しします。

<系統の分類>

		区 分	特 徴
主要系統		循環系統	市内中心部を循環する系統 (201号～208号系統)
		幹線系統	主として京都駅や四条界限に接続する, 旅客数が多くネットワークの骨格を形成する系統
		周辺部・都心 接続系統	外郭道路の外側から都心部へ直通するその他の系統
		周辺部ターミナル 接続系統	外郭道路の外側を運行し, 鉄道駅に接続する系統
		その他の系統	上記以外の系統

※1 「キロ当たり旅客数」

… 走行1キロ当たりで見た場合に, どれだけのお客様が利用されているかを表す数値です。

※2 「乗車効率」

… 車両の定員に対する利用割合です。

なお, 各系統の乗車効率は,

- ・大型車両で運行する系統については, 車両の定員を74名
- ・中型車両で運行する系統については, 車両の定員を55名
- ・小型車両で運行する系統については, 車両の定員を35名

で算出しています。また, 全系統の乗車効率(平均乗車効率)は, 車両の定員を全車の平均値である72名で算出しています。

ア 旅客数の上位20位及び下位20位

【上位20位の系統】

順位	系統	区 間	旅客数
1	205	九条車庫前 (北大路BT) 九条車庫前	30,251 人
2	206	北大路バスターミナル (京都駅前) 北大路バスターミナル	23,694
3	203	錦林車庫前 (西大路四条) 錦林車庫前	18,154
4	3	松尾橋 — 北白川仕伏町	13,610
5	202	九条車庫前 (熊野神社前) 九条車庫前	12,872
6	201	みぶ操車場前 (百万遍) みぶ操車場前	12,011
7	5	岩倉操車場前 — 京都駅前	11,225
8	207	九条車庫前 (祇園) 九条車庫前	10,994
9	9	西賀茂車庫前 — 京都駅前	10,796
10	204	北大路バスターミナル (西ノ京田町) 北大路バスターミナル	10,417
11	46	西賀茂車庫前 — 岡崎公園 ロームシアター 京都・みやこめっせ前	9,411
12	4	西賀茂車庫前 — 京都駅前	6,575
13	12	立命館大学前 — 三条京阪前	6,357
14	17	錦林車庫前 — 京都駅前	5,820
15	50	京都駅前 — 立命館大学前	5,274
16	93	錦林車庫前 — 嵐山	5,257
17	28	京都駅前 — 大覚寺	5,078
18	37	西賀茂車庫前 — 三条京阪前	4,952
19	13	四条烏丸 — 久世工業団地前	4,794
20	59	山越中町 — 三条京阪前	4,683

上位10位までの系統は旅客数が1万人を超えています。いずれも市内中心部の路線を運行する循環系統や幹線系統で、これらの系統の旅客数で、全体の旅客数の約半数を占めています。

【下位 20 位の系統】

順位	系統	区 間	旅客数
53	20	横大路車庫前 (京阪淀駅) 横大路車庫前	1,331 人
54	16	京都駅八条口 (南区総合庁舎前) 京都駅前	1,259
55	51	立命館大学前 — 三条京阪前	1,233
56	22	横大路車庫前 — 南工業団地前	1,176
56	65	岩倉操車場前 — 四条烏丸	1,176
58	8	四条烏丸 — 梅ノ尾	1,168
59	南1	竹田駅西口 — 桂駅東口	1,149
60	西3	洛西バスターミナル — 桂駅西口	1,059
61	78	京都駅前 — 久世工業団地前	1,035
62	43	四条烏丸 — 久世橋東詰	989
63	84	九条車庫前 — 太秦天神川駅前	985
64	M1	立命館大学前 — 原谷	967
65	19	横大路車庫前 — 京都駅前	861
66	42	洛西口駅前 — 京都駅前	741
67	南3	竹田駅西口 — 横大路車庫前	735
68	86	梅小路公園・ 京都鉄道博物館前 — 三条京阪前	726
69	西1	洛西バスターミナル — 桂駅西口	685
70	南8	横大路車庫前 — 竹田駅東口	522
71	67	西賀茂車庫前 — 松尾橋	416
72	52	立命館大学前 — 四条烏丸	392

下位の系統はいずれも周辺部を運行する系統や運行本数が少ない系統で、11の系統で旅客数が1千人未満となっています。

イ キロ当たり旅客数の上位20位及び下位20位

【上位20位の系統】

順位	系統	区 間	キロ当たり 旅客数
1	17	錦林車庫前 — 京都駅前	5.8 人
1	203	錦林車庫前 (西大路四条) 錦林車庫前	5.8
1	206	北大路バスターミナル (京都駅前) 北大路バスターミナル	5.8
1	207	九条車庫前 (祇園) 九条車庫前	5.8
5	201	みぶ操車場前 (百万遍) みぶ操車場前	5.6
6	86	梅小路公園・ 京都鉄道博物館前 — 三条京阪前	5.0
7	3	松尾橋 — 北白川仕伏町	4.9
8	9	西賀茂車庫前 — 京都駅前	4.8
9	5	岩倉操車場前 — 京都駅前	4.7
9	12	立命館大学前 — 三条京阪前	4.7
9	202	九条車庫前 (熊野神社前) 九条車庫前	4.7
9	205	九条車庫前 (北大路BT) 九条車庫前	4.7
9	北3	北大路バスターミナル — 京都産大前	4.7
14	6	京都駅前 — 玄塚	4.5
15	204	北大路バスターミナル (西ノ京円町) 北大路バスターミナル	4.4
16	46	西賀茂車庫前 — 岡崎公園 ロームシアター 京都・みやこめっせ前	4.3
17	15	立命館大学前 — 三条京阪前	4.2
17	28	京都駅前 — 大覚寺	4.2
19	4	西賀茂車庫前 — 京都駅前	4.1
19	50	京都駅前 — 立命館大学前	4.1

京都駅や四条河原町等のターミナルや中心市街地、観光地が多くある東山方面を運行する系統でキロ当たり旅客数が高くなっています。

【下位20位の系統】

順位	系統	区	間	キロ当たり 旅客数
53	42	洛西口駅前	— 京都駅前	2.7 人
54	西2	洛西バスターミナル	— 桂駅西口	2.5
55	西8	洛西バスターミナル	— 桂駅西口	2.4
55	南3	竹田駅西口	— 横大路車庫前	2.4
57	18	二条駅西口	— 久我石原町	2.3
57	70	小畑川公園北口	— 太秦天神川駅前	2.3
57	78	京都駅前	— 久世工業団地前	2.3
57	西6	桂坂中央	— 桂駅西口	2.3
61	8	四条烏丸	— 梅ノ尾	2.1
61	西4	洛西バスターミナル	— JR桂川駅前	2.1
63	19	横大路車庫前	— 京都駅前	2.0
63	20	横大路車庫前 (京阪淀駅)	横大路車庫前	2.0
65	16	京都駅八条口 (南区総合庁舎前)	京都駅前	1.9
66	西5	桂坂中央	— 桂駅西口	1.8
67	84	九条車庫前	— 太秦天神川駅前	1.7
67	西1	洛西バスターミナル	— 桂駅西口	1.7
67	南1	竹田駅西口	— 桂駅東口	1.7
70	西3	洛西バスターミナル	— 桂駅西口	1.6
71	南8	横大路車庫前	— 竹田駅東口	1.5
72	22	横大路車庫前	— 南工業団地前	1.4

周辺部を運行する系統などでキロ当たり旅客数が低くなっています。下位の8系統のキロ当たり旅客数は2.0人未満でした。

ウ 乗車効率の上位20位及び下位20位

【上位20位の系統】

順位	系統	区 間	乗車効率
1	17	錦林車庫前 — 京都駅前	26.8 %
2	28	京都駅前 — 大覚寺	26.2
3	9	西賀茂車庫前 — 京都駅前	25.9
4	5	岩倉操車場前 — 京都駅前	25.8
5	206	北大路バスターミナル (京都駅前) 北大路バスターミナル	25.7
6	6	京都駅前 — 玄塚	25.3
7	北3	北大路バスターミナル — 京都産大前	24.7
8	203	錦林車庫前 (西大路四条) 錦林車庫前	23.8
9	73	洛西バスターミナル — 京都駅前	23.5
9	33	洛西バスターミナル — 京都駅前	(23.5)
11	3	松尾橋 — 北白川仕伏町	22.8
12	70	小畑川公園北口 — 太秦天神川駅前	[22.6]
13	205	九条車庫前 (北大路BT) 九条車庫前	22.4
14	4	西賀茂車庫前 — 京都駅前	22.2
15	南2	竹田駅西口 — J R長岡京東口	(21.8)
16	46	西賀茂車庫前 — 岡崎公園 ロームシアター 京都・みやこめっせ前	21.2
17	91	四条烏丸 — 大覚寺	21.1
18	12	立命館大学前 — 三条京阪前	20.9
19	202	九条車庫前 (熊野神社前) 九条車庫前	20.5
20	50	京都駅前 — 立命館大学前	20.4

※ () は定員55名(中型車両), [] は定員35名(小型車両), それ以外の系統は定員74名(大型車両)で乗車効率を算出した。

乗車効率は、循環系統や幹線系統に加え、28号系統や73号系統などの一部の周辺部・都心接続系統においても、比較的高い数値となりました。

【下位20位の系統】

順位	系統	区 間	乗車効率
53	北8	北大路バスターミナル (修学院道) 北大路バスターミナル	12.7 %
54	75	京都駅前 — 山越中町	12.4
55	南8	横大路車庫前 — 竹田駅東口	[12.3]
56	南1	竹田駅西口 — 桂駅東口	(12.2)
57	西2	洛西バスターミナル — 桂駅西口	12.0
58	208	九条車庫前 (京都駅前) 九条車庫前	11.8
59	19	横大路車庫前 — 京都駅前	11.6
60	84	九条車庫前 — 太秦天神川駅前	(11.3)
61	18	二条駅西口 — 久我石原町	11.2
62	西4	洛西バスターミナル — J R桂川駅前	11.1
62	西8	洛西バスターミナル — 桂駅西口	11.1
64	22	横大路車庫前 — 南工業団地前	(10.5)
65	西5	桂坂中央 — 桂駅西口	10.4
65	南3	竹田駅西口 — 横大路車庫前	(10.4)
67	8	四条烏丸 — 梅ノ尾	9.7
68	27	京都外大前 — 四条烏丸	9.2
69	20	横大路車庫前 (京阪淀駅) 横大路車庫前	9.1
70	16	京都駅八条口 (南区総合庁舎前) 京都駅前	(8.5)
71	西3	洛西バスターミナル — 桂駅西口	8.4
72	西1	洛西バスターミナル — 桂駅西口	8.0

※ [] は定員35名(小型車両), () は定員55名(中型車両), それ以外の系統は定員74名(大型車両)で乗車効率を算出した。

周辺部を運行する系統に加え、幹線道路を運行する系統でも、一部、乗車効率の低いものがありました。下位の6系統は乗車効率が10%未満となっています。

(9) 停留所別の乗降客数（乗車・降車の合計，上位30位）

順位	停留所	乗車	降車	合計
1	京都駅前	20,945 人	20,892 人	41,837 人
2	四条河原町	12,400	13,516	25,916
3	西大路四条	8,658	8,476	17,134
4	北大路バスターミナル	8,368	7,891	16,259
5	四条大宮	7,344	7,154	14,498
6	四条烏丸	6,581	6,796	13,377
7	四条高倉	4,703	4,199	8,902
8	河原町三条	3,800	3,539	7,339
9	西ノ京円町	3,786	3,496	7,282
10	北野白梅町	3,645	3,618	7,263
11	桂駅西口	3,675	3,382	7,057
12	四条堀川	3,529	3,050	6,579
13	出町柳駅前	3,157	3,118	6,275
14	千本北大路	3,175	2,712	5,887
15	祇園	2,781	2,991	5,772
16	二条駅前	2,738	2,995	5,733
17	熊野神社前	2,788	2,781	5,569
18	河原町丸太町	2,408	2,441	4,849
19	東山三条	2,645	2,198	4,843
20	京都市役所前	2,265	2,473	4,738
21	河原町今出川	2,464	2,194	4,658
22	百万遍	2,358	2,146	4,504
23	西大路御池	2,128	2,368	4,496
24	清水道	2,109	2,355	4,464
25	堀川丸太町	2,253	2,102	4,355
26	四条京阪前	2,126	2,215	4,341
27	千本今出川	2,244	2,056	4,300
28	立命館大学前	2,087	2,181	4,268
29	千本丸太町	1,979	2,004	3,983
30	銀閣寺道	1,875	2,095	3,970

鉄道駅と接続する停留所，都心部の主要交差点や観光地最寄りの停留所が上位を占めています。

(10) 停留所間別の旅客数（お客様が利用された区間の組み合わせ，上位30位）

順位	乗車停留所	降車停留所	旅客数
1	四条河原町	京都駅前	2,239 人
2	京都駅前	四条河原町	1,454
3	北大路バスターミナル	京都産大前	1,086
4	京都産大前	北大路バスターミナル	1,071
5	京都駅前	五条坂	901
6	清水道	京都駅前	612
7	西大路四条	四条葛野大路	500
8	西大路四条	北野白梅町	478
9	京都駅前	清水道	467
10	北野白梅町	西大路四条	461
11	千本北大路	北大路バスターミナル	460
12	桂駅西口	境谷大橋	443
13	北大路バスターミナル	高野橋東詰	438
14	東山七条	京都駅前	430
15	河原町三条	京都駅前	426
15	立命館大学前	京都駅前	426
17	五条坂	京都駅前	399
18	京都駅前	東山七条	370
19	西大路四条	立命館大学前	366
20	四条河原町	四条烏丸	352
21	北大路バスターミナル	千本北大路	343
22	四条高倉	四条河原町	336
23	祇園	京都駅前	335
23	京都駅前	府立医大病院前	335
25	四条大宮	佛教大学前	334
26	四条河原町	府立医大病院前	329
27	京都駅前	河原町三条	319
28	府立医大病院前	四条河原町	318
29	四条大宮	四条烏丸	310
30	京都駅前	祇園	307

鉄道駅等のターミナル～都心の商業地，観光地間の御利用が上位を占めました。

(11) 旅客流動の状況（次頁参照）

市バス路線上的お客様の流れを「流動図」*でお示ししています。

※「流動図」

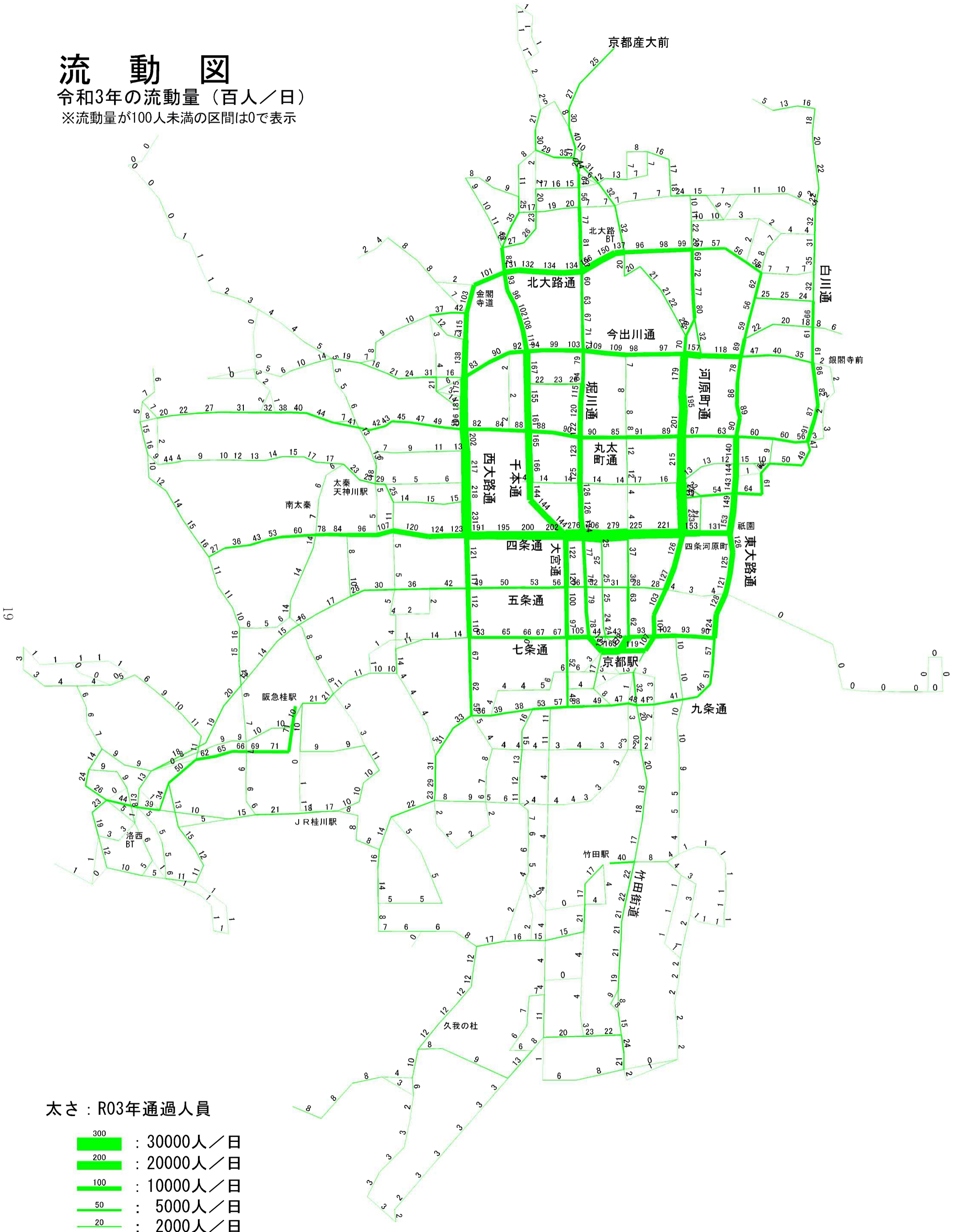
… 市バス路線の各区間の利用者数（通過人数＝その区間を移動されたお客様の数）を地図上に表したものです。路線上の数字は、各区間の利用者数（通過人数／百人単位）です。線の太さはお客様の流れの大きさ（流動量）を表しています。

- ・ 流動図から、市バスは概ね、北大路通、西大路通、九条通、東大路通等の外郭道路上と、その内側で碁盤目状に構成された東西及び南北の幹線道路を中心に御利用されている状況が確認できます。
- ・ 特に、南北の幹線道路である西大路通、千本通、堀川通、河原町通、東大路通や、東西の幹線道路である北大路通、四条通、また、京都駅付近の御利用が顕著です。
- ・ 外郭道路の外側では、四条通の西大路通より西側の区間で1万人を上回る御利用があるほか、堀川通の北大路通より北側では御利用が8千人を上回る区間が、また、阪急桂駅～洛西方面間では御利用が7千人を上回る区間があります。

流動図

令和3年の流動量（百人／日）

※流動量が100人未満の区間は0で表示



太さ：R03年通過人員

- : 30000人／日
- : 20000人／日
- : 10000人／日
- : 5000人／日
- : 2000人／日

3 休日調査の結果

平日との御利用状況に違いがあるかどうかなどを把握するため、一部ダイヤを抽出（7時～19時の間、概ね1時間に1～2運行）して休日の調査を実施しました。

ここでは、平日と異なる特徴が見られた「居住地」、「利用券種」及び「乗車目的」の旅客数の構成比や系統別の乗車効率についてお示しします。

(1) 居住地別の旅客数の構成比

区 分	休日調査	平日調査
京都市内	69.2 %	79.7 %
京都市以外	30.8	20.3
合 計	100.0	100.0

- ・ 京都市内にお住まいの方の御利用は 69.2%と、平日と比べて 10 ポイント以上低くなっています。
- ・ 一方、京都市以外にお住まいの方の利用は 30.8%と、平日と比べて 10 ポイント以上高い結果となりました。

(2) 利用券種別の旅客数の構成比

区 分		休日調査	平日調査
定期外	現金	10.0 %	6.5 %
	I Cカード	32.2	28.5
	回数券	4.1	6.5
	一日券・二日券	13.0	6.8
	トラフィカ京カード	1.4	1.7
	(小 計)	(60.7)	(50.0)
定期券・I C定期券		10.7	21.0
敬老乗車証		22.9	23.0
その他		5.7	6.0
合 計		100.0	100.0

- ・ 定期外での御利用の割合は 60.7%と、平日に比べて高くなりました。
- ・ 「定期券・I C定期券」の御利用の割合は、平日の半分程度です。
- ・ 「敬老乗車証」の御利用の割合は、平日と同程度です。

(3) 乗車目的別の旅客数の構成比

区 分	休日調査	平日調査
通勤	9.1 %	34.9 %
通学	2.1	11.7
仕事・業務	4.8	6.9
買い物・食事	29.6	14.8
観光・修学旅行	24.0	9.9
通院	0.7	5.9
趣味・娯楽	17.1	7.9
その他	12.6	8.0
合 計	100.0	100.0

- ・ 「買い物・食事」での御利用の割合が29.6%と最も多く、平日と比べて2倍高くなりました。
- ・ 次いで、「観光・修学旅行」の24.0%、「趣味・娯楽」の17.1%と、余暇活動での御利用の割合が多くなっています。

(4) 乗車効率の状況（次頁以降参照）

平均の乗車効率は、20.1%でした。

系統別にみると、休日は、平日と比べて、乗車効率の高い系統と低い系統の差が開く傾向にあります。

【上位20位の系統】

順位	系統	区 間		乗車効率		
				休日	平日	
1	5	岩倉操車場前	—	京都駅前	38.2 %	25.8 %
2	50	京都駅前	—	立命館大学前	34.9	20.4
3	206	北大路バスターミナル	(京都駅前)	北大路バスターミナル	30.3	25.7
4	28	京都駅前	—	大覚寺	29.2	26.2
5	205	九条車庫前	(北大路BT)	九条車庫前	28.2	22.4
6	17	錦林車庫前	—	京都駅前	27.8	26.8
7	9	西賀茂車庫前	—	京都駅前	27.2	25.9
7	12	立命館大学前	—	三条京阪前	27.2	20.9
9	46	西賀茂車庫前	—	岡崎公園 ロームシアター 京都・みやこめっせ前	25.5	21.2
10	37	西賀茂車庫前	—	三条京阪前	24.6	18.6
11	4	西賀茂車庫前	—	京都駅前	24.5	22.2
12	11	山越中町	(嵐山)	三条京阪前	24.2	15.3
13	202	九条車庫前	(熊野神社前)	九条車庫前	23.8	20.5
14	203	錦林車庫前	(西大路四条)	錦林車庫前	23.6	23.8
15	3	松尾橋	—	北白川仕伏町	22.8	22.8
16	207	九条車庫前	(祇園)	九条車庫前	22.7	18.8
17	73	洛西バスターミナル	—	京都駅前	22.6	23.5
18	86	梅小路公園・京都鉄道博物館前	—	三条京阪前	22.4	17.6
19	59	山越中町	—	三条京阪前	22.3	15.7
19	70	小畑川公園北口	—	太秦天神川駅前	[22.3]	[22.6]

※ [] は定員35名（小型車両）、それ以外の系統は定員74名（大型車両）で乗車効率を算出した。

- ・ 5号系統など、路線沿線に観光地がある系統や中心市街地を運行する系統で乗車効率が高くなっています。
- ・ 50号系統など、立命館大学前を発着する系統で乗車効率が高くなっていますが、調査当日に立命館大学で模擬試験が実施された等の影響もあると考えられます。

【下位20位の系統】

順位	系統	区 間		乗車効率		
				休日	平日	
54	208	九条車庫前	(京都駅前)	九条車庫前	11.5 %	11.8 %
55	43	四条烏丸	-	久世橋東詰	11.4	13.8
56	北8	北大路バスターミナル	(修学院道)	北大路バスターミナル	11.2	12.7
57	71	九条車庫前	-	松尾橋	10.8	14.3
58	南8	横大路車庫前	-	竹田駅東口	[10.6]	[12.3]
59	78	京都駅前	-	久世工業団地前	10.5	13.0
60	84	九条車庫前	-	太秦天神川駅前	(9.6)	(11.3)
61	20	横大路車庫前	(京阪淀駅)	横大路車庫	9.5	9.1
62	22	横大路車庫前	-	南工業団地前	(9.3)	(10.5)
63	西8	洛西バスターミナル	-	桂駅西口	9.1	11.1
64	88	九条車庫前	-	梅小路公園・京都鉄道博物館前	8.9	-
64	16	京都駅八条口	(南区総合庁舎前)	京都駅前	(8.9)	(8.5)
66	18	二条駅西口	-	久我石原町	8.8	11.2
67	42	洛西口駅前	-	京都駅前	8.4	13.1
68	西6	桂坂中央	-	桂駅西口	7.6	14.3
69	27	京都外大前	-	四条烏丸	7.4	9.2
70	西1	洛西バスターミナル	-	桂駅西口	7.3	8.0
71	南3	竹田駅西口	-	横大路車庫前	(7.1)	(10.4)
72	西3	洛西バスターミナル	-	桂駅西口	7.0	8.4
72	西5	桂坂中央	-	桂駅西口	7.0	10.4

※ [] は定員35名(小型車両)、() は定員55名(中型車両)、それ以外の系統は定員74名(大型車両)で乗車効率を算出した。

- ・ 乗車効率の下位の系統は、周辺部を運行する系統に多く、10%を下回る系統が14系統あります。
- ・ 平日と同様、幹線道路を運行する系統においても、一部、乗車効率の低いものがあります。